

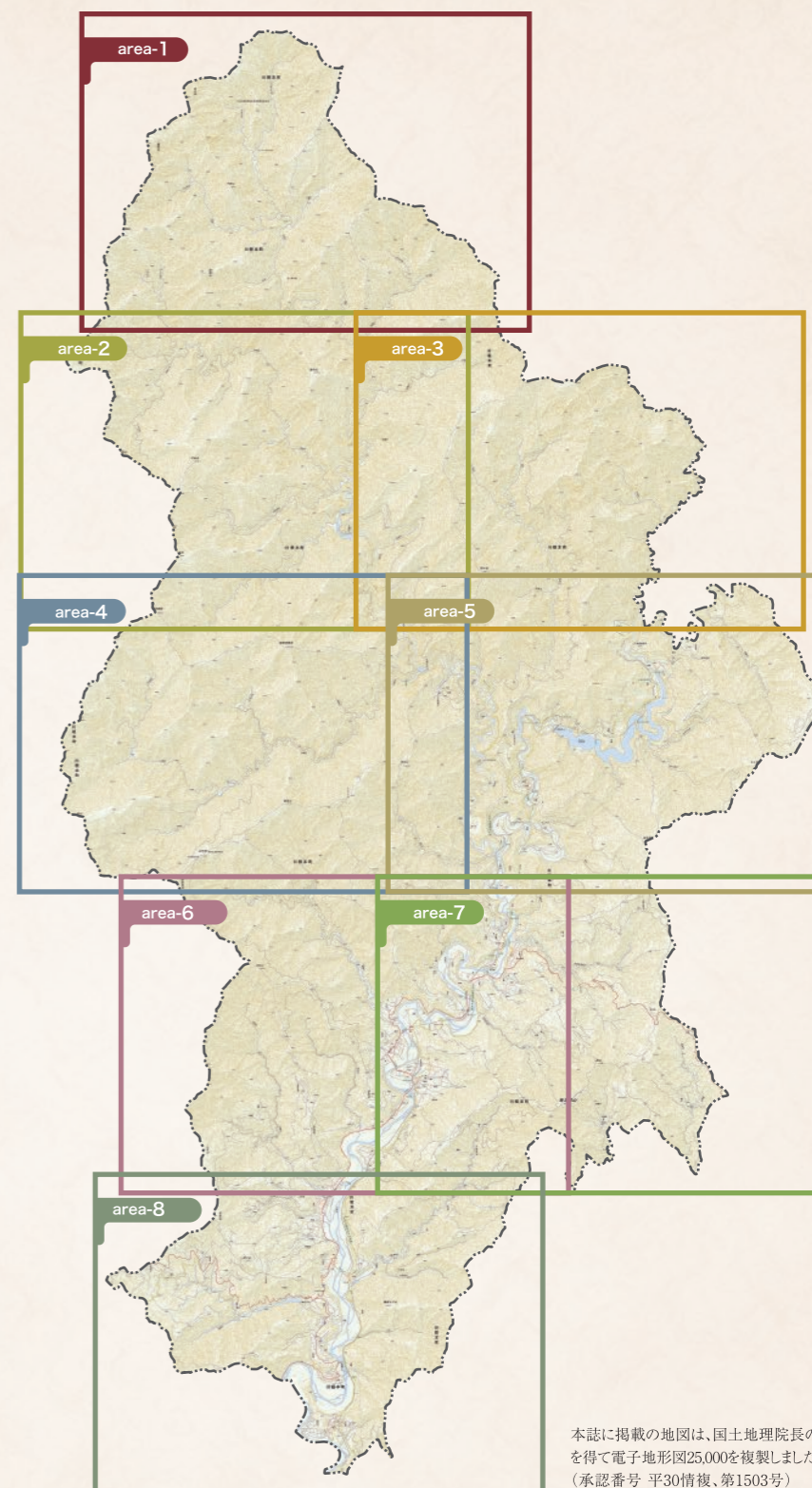
はじめに

人々が暮らしの中で行うあらゆる活動から、文化が形成され、学んだり、遊んだり、働いたり、日常生活上の文化的なあらゆる活動に、その地域ならではの文化が反映されていきます。先人たちが大切に残してきた文化財は、過去の姿を明らかにする歴史や時代の証人であり、現在と比較して正しい未来を切り拓いていくための重要な教科書でもあります。川根本町には、そうした貴重な文化財が数多く残っており、指定文化財に登録されている歴史的・文化的遺産は37件にのぼります。特に「徳山の盆踊」は、重要無形民俗文化財(国)に指定され、近世初期の痕跡を残す芸能史的にも貴重な文化財です。天然記念物では、共に県指定文化財に登録される「津島神社の五本スギ」「浅間神社の鳥居スギ」、史跡では「小長谷城址」、建造物では「智満寺山門」などがあります。2001年には、千頭駅構内の大井川鉄道車両用転車台が、登録有形文化財(建造物)に指定されました。川根本町ではこの他にも生活用品、民話、昔話など、多くの地域文化の保存や発掘、伝承活動が行われており、魅力ある伝統的な文化が数多く残る町として情報発信されています。

川根本町に残る貴重な歴史的・文化的遺産と動植物の一部をマップにまとめました。町に残る貴重な文化財や自然環境を知り、大切に保護し後世に守り継いでいきましょう。



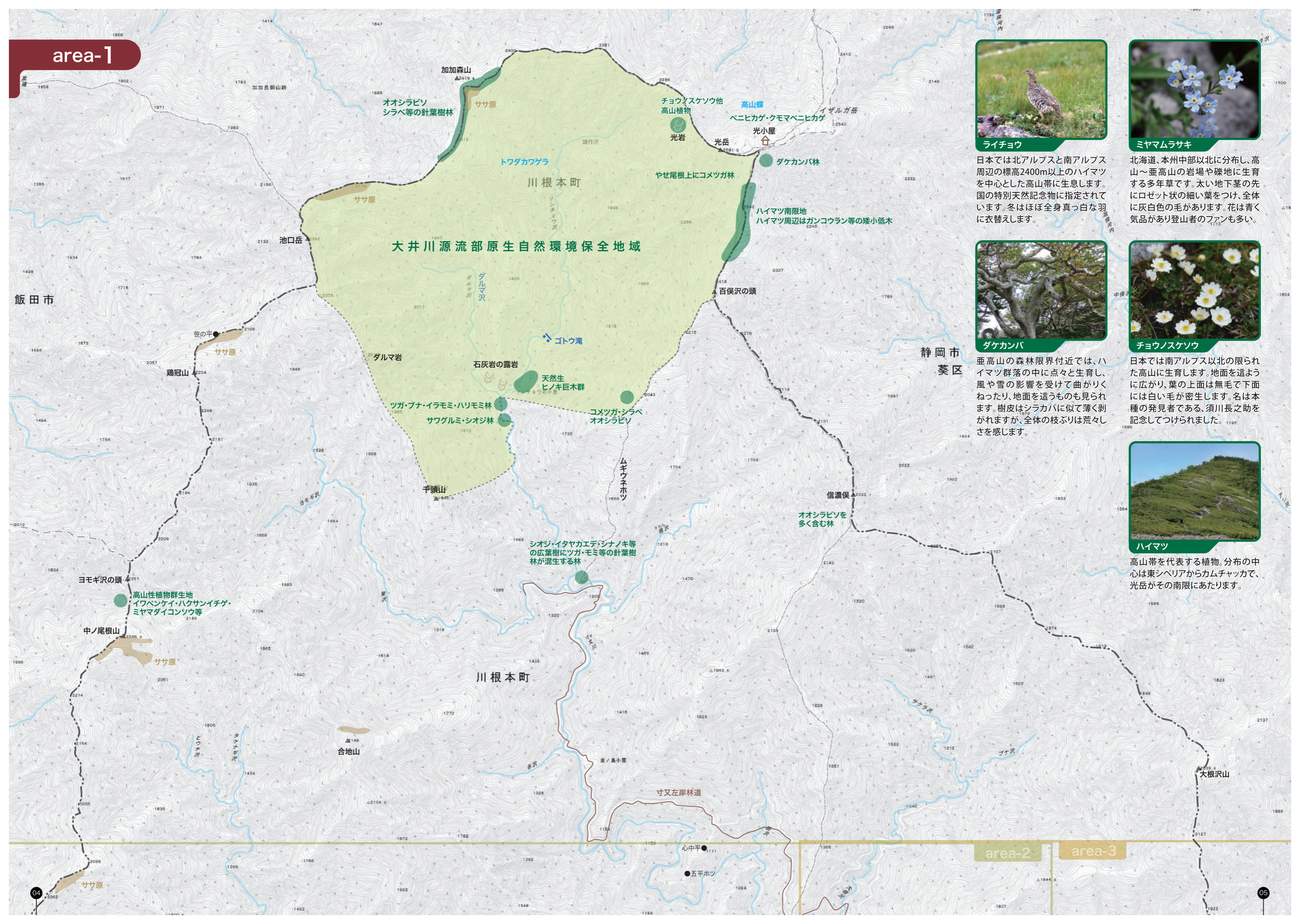
川根本町 エリア全図



本誌に掲載の地図は、国土地理院長の承認を得て電子地形図25,000を複製しました。(承認番号 平30情復、第1503号)

- area-1
P04・P05
- area-2
P06・P07
- area-3
P08・P09
- area-4
P10・P11
- area-5
P12・P13
- area-6
P14・P15
- area-7
P16・P17
- area-8
P18・P19

凡 例							
	市町境		神社		天然記念物		学校
	国道		寺院		地蔵堂		滝
	県道・主要道路		お堂・庚申塔他		吊り橋・水路橋		岩
	その他道路		史跡他		墳墓		崖・薮
	大井川鐵道		無形文化財		遺跡		山小屋
	南アルプスあぶとライン		常夜灯		林・植物帯		川狩りの難所
	トンネル		神仏像		ササ原		地名・施設



大井川源流部原生自然環境保全地域



ライチョウ

日本では北アルプスと南アルプス周辺の標高2400m以上のハイマツを中心とした高山帯に生息します。国の特別天然記念物に指定されています。冬はほぼ全身真っ白な羽に衣替えます。



ミヤマムラサキ

北海道、本州中部以北に分布し、高山～亜高山の岩場や礫地に生育する多年草です。太い地下茎の先にロゼット状の細い葉をつけ、全体に灰白色の毛があります。花は青く気品があり登山者のファンも多い。



ダケカンバ

亜高山の森林限界付近では、ハイマツ群落の中に点々と生育し、風や雪の影響を受けて曲がりくねったり、地面を這うものも見られます。樹皮はシラカバに似て薄く剥がれますが、全体の枝ぶりは荒々しさを感じます。



チョウノスケソウ

日本では南アルプス以北の限られた高山に生育します。地面を這うように広がり、葉の上面は無毛で下面には白い毛が密生します。名は本種の発見者である、須川長之助を記念してつけられました。



ハイマツ

高山帯を代表する植物。分布の中心は東シベリアからカムチャッカで、光岳がその南限にあたります。

area-2

area-1

area-3

area-4

area-5



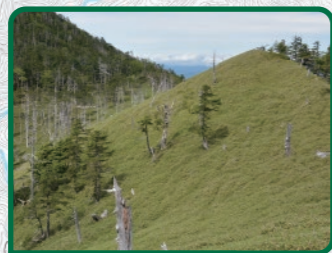
バイケイソウ

太く直立した茎に楕円形の大きな葉をもち、初夏に緑白色の花を多数総状につけます。新芽が山菜のオオバギボウシやギョウウジャニンニクと似ており、有毒のアルカロイドを含有しているため中毒事故が多い。



マンサク

早春の山で一番早く咲くことから「まず咲く」がマンサクになったと言われています。寸又川流域や接岨・大札山周辺で見られます。



ササ原

川根本町の山間地では標高1600m付近を境にススキと上部にチシマザサが見られますが、クマイササやネマガリタケ等、他数種が混生していることが多いです。風当たりの強い尾根筋などに広いササ原をつくります。



不動岳トウヒ林

樹高30mに達するトウヒの巨木群

不動岳

ササ原

鎌崩

丸盆岳

黒法師岳 トウヒ・コムツガ混交林

川根本町

黒沢山

六呂場峠

六呂場山

立壁

烏帽子薙

諸沢山

御料諸ノ沢

源平薙

天地

尾筋

日向

お立ち台

東側分教場跡

旧大寸俣村東側

製品事業所跡

矢平

area-3

area-1

area-2

川根本町

高山蝶
ベニヒカゲ南限地

コメツガ群落
胸高直径1mを超える
巨木もみられる。

シラベ・オオシラビソ
コメツガ針葉樹林

大無間山

中無間山

唐松薙

小無間山

鏡歯

ベニヒカゲ

標高1500m以上に生息する、ジャノメチョウ科の高山蝶です。7月下旬から9月上旬にかけて、稜線や沢沿いなどの明るい草原部でみることができ、アザミ類をはじめ、様々な花の蜜を好みます。

シラベ

亜高山帯に生える常緑高木。寸又川流域の亜高山帯を代表する樹木です。

モミ林

尾根部に特徴的な姿をして茂っており、接岨峡の森林景観の重要な要素となっている。モミ林としては、静岡県下でも最大規模の面積をほこっています。

尾根筋はほとんどモミが占め
一部にツガが生育。
斜面下部には常緑のカシ類が多い。

接岨峡のモミ林

area-5

area-4

朝日岳

川根本町

鶴の天

栗尾峠(大小屋戸)

彦次の瀬戸
取水口

暗見ノ瀬戸

八丁暗見

井川駅

井川ダム

旧大寸俣村東側

東側分教場跡

製品事業所跡

栗尾沢砂金掘遺跡

栗尾屋敷跡

関の沢鉄橋

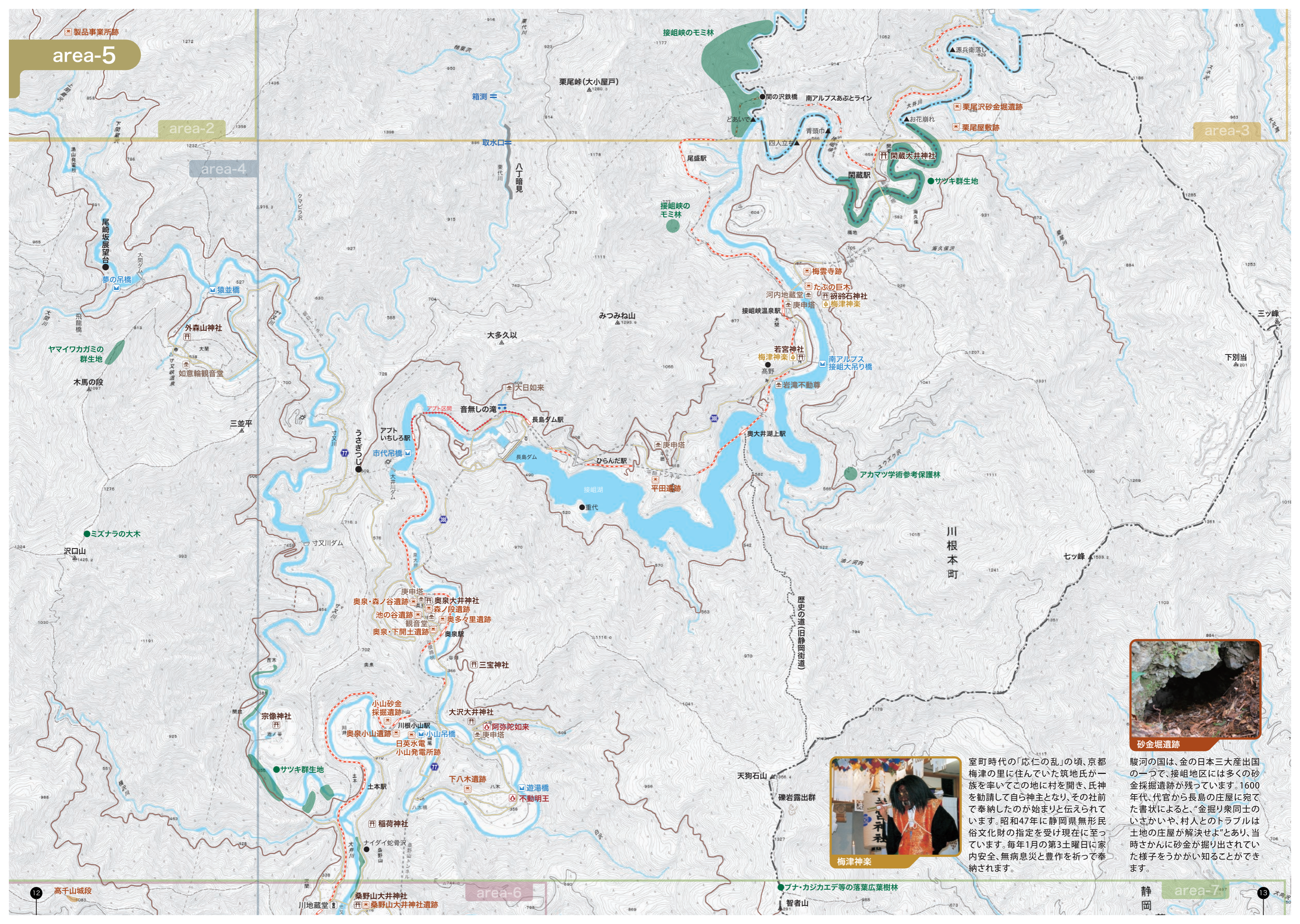
どあい

青頭

南アルプスあぶとライン

源兵衛落とし

お花崩れ



砂金掘遺跡



梅津神楽

室町時代の「応仁の乱」の頃、京都梅津の里に住んでいた筑地氏が一族を率いてこの地に村を開き、氏神を勧請して自ら神主となり、その社前で奉納したのが始まりと伝えられています。昭和47年に静岡県無形民俗文化財の指定を受け現在に至っています。毎年1月の第3土曜日に家内安全、無病息災と豊作を祈って奉納されます。

駿河の国は、金の日本三大産出国の一つで、接叺地区には多くの砂金採掘遺跡が残っています。1600年代、代官から長島の庄屋に宛てた書状によると、「金掘り衆同士のいさかや、村人とのトラブルは土地の庄屋が解決せよ」とあり、当時さかんに砂金が掘り出されていた様子をうかがい知ることができます。

area-6



アカヤシオ

アケボノツツジの変種で本州福島県以南から九州に分布します。日当たりの良い山地に見られる落葉低木で、樹高は約5m。枝先に紅色の5枚の葉を、やや下向きに輪生状につけます。



シロヤシオ

山地のやや高所に見られる落葉低木で、樹高は3~5m。5月頃葉の展開と同時に白色漏斗状の花を付けます。別称のゴヨウツツジは、葉が5枚輪生状につく(五葉)ことから、名づけられたと言われています。



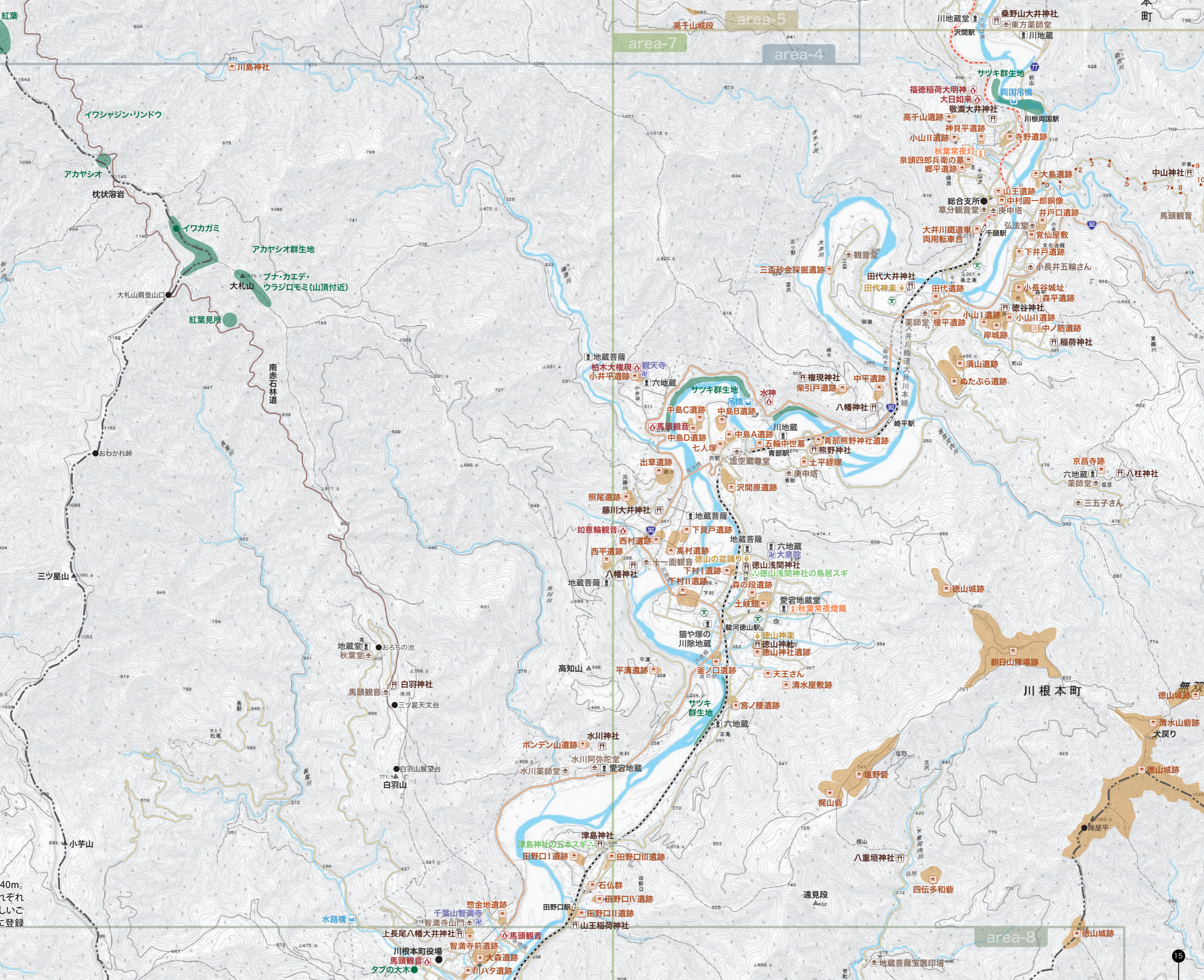
智満寺山門

開山は平安時代。本堂は1745年に焼失したが、13世一音和尚により再建されたものといわれています。山門は江戸時代中期の建築とされ、造りは鎌倉時代に入ってきた禅宗様式で大型の門となっています。



津島神社の五本スギ

推定樹齢300年の大杉で、高さは約40m。8m付近から幹が五本に分かれ、それぞれが同じような太さで成長している珍しいご神木です。静岡県指定天然記念物に登録される、神秘的な印象の巨木です。



area-7

area-4

area-5

area-6

area-8



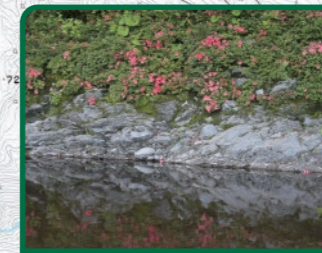
智者山神社参道三十三体観音

智者山山頂登り口から智者山神社までの参道に、三十三体の石地蔵がほぼ等間隔で祀られています。一体一体に番号が刻まれています。



大井川鐵道転車台

1897年にイギリスで製造された転車台で、東赤谷駅(新潟県新発田市)から1980年7月20日に移設され、同年11月12日に使用を開始されました。手動式で、駅員や機関士が5人がかりでSLを方向転換させます。



サツキ

本種は大井川流域の溪谷植生を特徴づける植物。花期は5~6月頃で、源流域では7月頃まで花を見ることがあります。静岡県はその北限にあたります。



小長谷城址

土豪小長谷氏の居城。室町時代は今川氏に属し、1568年に武田信玄が駿河に侵攻し、駿河を所領にした際に武田氏に降った。1575年の長篠の戦いに勝利した徳川氏が支配すると共に、改修を受けたと言われています。



田代神楽

1189年、成元成書、成近の兄弟がこの地に村を開き、大井川河畔の杉の根元に大井神社を建立し、成善が神職につき、神楽を奉納したと伝えられています。1985年に、県無形民俗文化財の指定を受けています。



徳山の盆踊り

古歌舞伎踊りの初期の仕組みを伝承し、これに動物仮装の風流が添えられていて、地域の特色にも富んでいるなど大変貴重な盆踊りの形態をしています。昭和62年に国の重要無形民俗文化財の指定を受けました。



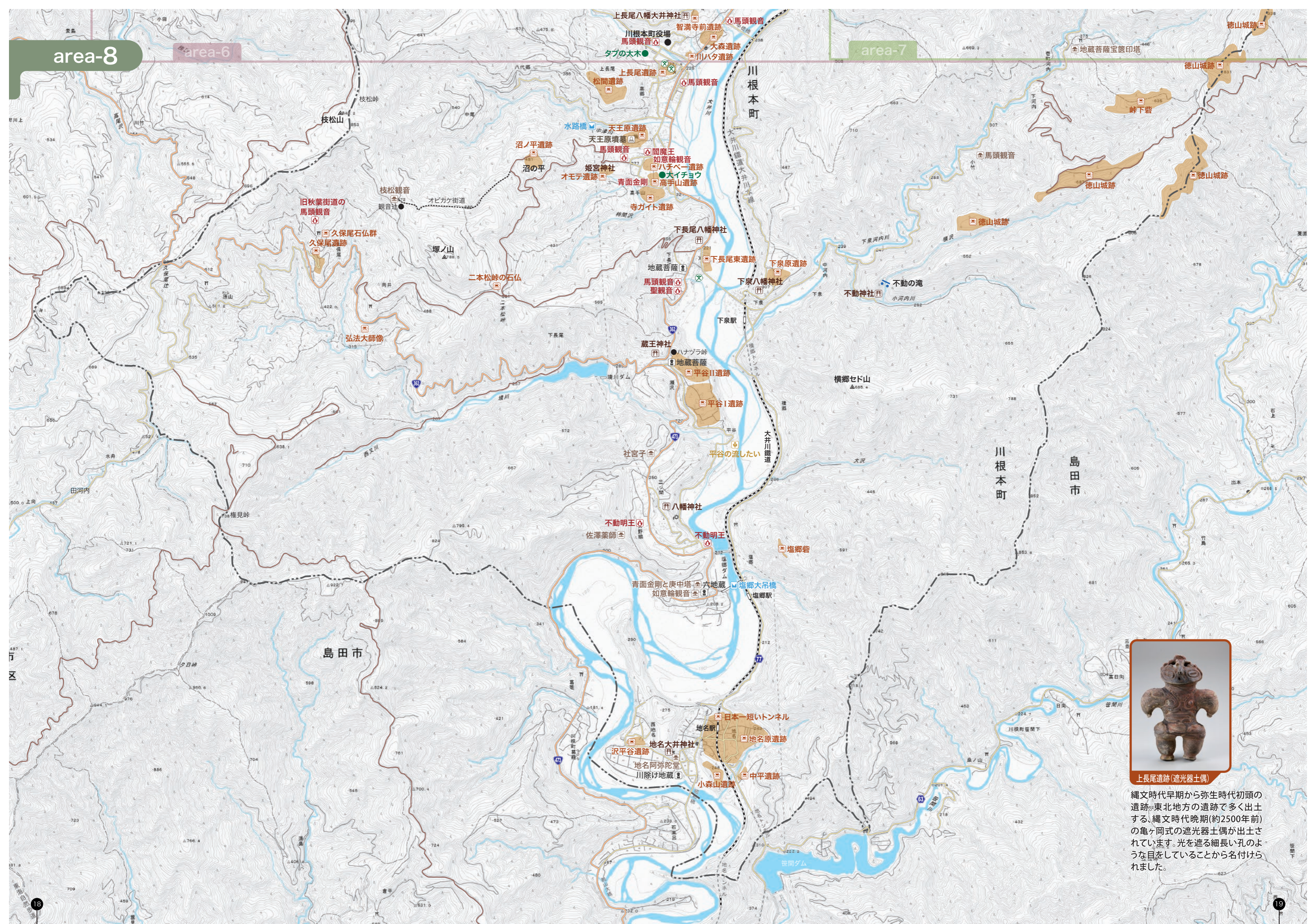
徳山浅間神社の鳥居スギ

徳山神社社殿の真正面に並ぶ、推定樹齢600年の2本の大杉です。鳥居杉(夫婦杉)と呼ばれ、病氣平癒の願いが叶えられた記念に植えられたという言い伝えもあります。県の文化財に指定されています。

area-8

area-6

area-7



上長尾遺跡(遮光器土偶)

縄文時代早期から弥生時代初頭の遺跡、東北地方の遺跡で多く出土する、縄文時代晩期(約2500年前)の亀ヶ岡式の遮光器土偶が出土されています。光を遮る細長い孔のような目をしていることから名付けられました。

国指定文化財

名 称	種 類	地 区 名
徳山の盆踊	重要無形民俗文化財	徳山

県指定文化財

名 称	種 類	地 区 名
梅津神楽	無形民俗文化財	接岨
田代神楽	無形民俗文化財	田代
徳山神楽	無形民俗文化財	徳山
わに口(智者山神社)	有形文化財(工芸)	平栗
わに口(熊野神社)	有形文化財(工芸)	青部
わに口(敬満大井神社)	有形文化財(工芸)	寺馬
わに口(敬満大井神社)	有形文化財(工芸)	寺馬
津島神社の五本スギ	天然記念物	田野口
浅間神社の鳥居スギ	天然記念物	徳山

町指定文化財

名 称	種 類	地 区 名
小長谷城址	有形文化財(史跡)	上岸
武田家朱印状(1)・小長谷学仙状(3)	有形文化財(古文書)	田代
小長井五輪さん	有形文化財(史跡/墓石群)	小長井
智満寺山門	有形文化財(建造物)	上長尾
水川阿弥陀堂	有形文化財(建造物)	水川
東方薬師堂	有形文化財(建造物)	桑野山
愛宕地藏堂	有形文化財(建造物)	徳山
秋葉常夜燈籠	有形文化財(建造物)	徳山
秋葉常夜灯	有形文化財(建造物)	千頭西
千手観世音菩薩立像	有形文化財(彫刻)	上長尾
木造如来座像(智満寺)	有形文化財(彫刻)	上長尾
村松以弘作 天井絵	有形文化財(絵画)	水川
天井・欄間の絵画と彫刻	有形文化財(絵画・彫刻)	青部
平谷の流したい	無形民俗文化財	瀬平
わに口(外森神社)	有形文化財(工芸)	大間
わに口(久保尾阿弥陀堂)	有形文化財(工芸)	久保尾
わに口(八柱神社)	有形文化財(工芸)	坂京
わに口(東方薬師堂)	有形文化財(工芸)	桑野山
わに口(外森神社)	有形文化財(工芸)	大間
わに口	有形文化財(工芸)	洗富小幡
わに口	有形文化財(工芸)	接岨
双盤	有形文化財(工芸)	坂京
和鐘	有形文化財(工芸)	小長井
刀	有形文化財(工芸)	沢間
脇指	有形文化財(工芸)	崎平
智者山神社 棟札	有形文化財(歴史資料)	平栗
徳山城址・支城(護庵土城址)	有形文化財(史跡)	壱町河内・洗富小幡

登録有形文化財

名 称	種 類	地 区 名
大井川鐵道車両用転車台	登録有形文化財(建造物)	千頭

その他の歴史的・文化的遺産

【鉄道関係施設】日本一短いトンネル、駿河徳山駅舎・田野口駅舎・下泉駅舎

【吊り橋】塩郷の吊橋・両国吊橋・遊湯橋・猿並橋・小長井の吊橋・小山の吊橋・南アルプス接岨大吊橋
池の谷の吊橋・夢の吊橋・市代吊橋

【施設】日英水電株式会社小山発電所跡

編集発行

(2021年5月改訂)

川根本町教育委員会 社会教育課

静岡県榛原郡川根本町千頭1183-1
TEL.0547-58-7080
FAX.0547-59-4025